

相馬市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

小学生の保護者様向け

～ 調査ご協力をお願い ～



日頃より、市政にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

相馬市では子ども・子育て支援、こどもの貧困対策などの施策の方向性を定める「相馬市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援施策を計画的に推進しております。

第3期計画を改定するにあたり、今後の子ども・子育て支援施策を充実するために、「教育・保育サービスの利用意向」、「子育て支援に関するご意見」などをお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施することにいたしました。

本調査は、令和6年7月1日時点で小学生のお子さんのいらっしゃる保護者の方を対象に実施するもので、調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありませんので、安心して回答ください。ご多忙とは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年7月

相馬市長 立谷 秀 清

■ご回答にあたってのお願い

- ◆ アンケートには、できる限りお子さんの保護者の方が、無記名でご回答ください。
- ◆ 回答方法は、「①オンライン回答」または「②アンケート用紙(この冊子)に直接回答」のいずれか1つの方法で、**7月31日(水)までに**、ご回答をお願いいたします(所要時間15～20分程度)。

① オンライン回答

- ◆ パソコン・スマートフォン等によりオンライン回答をご希望の方は、下記 URL または2次元コードより回答画面にアクセスし、画面の指示により、ご回答ください。

URL <https://logoform.jp/f/6CsTu>

<オンライン回答>



② アンケート用紙(この冊子)に直接回答

- ◆ 黒か青のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- ◆ ご回答は、「○は1つ」「当てはまるものすべてに○」などの表記に従って、該当する番号に○をつけてください。
- ◆ “□□時”に数字をご記入いただく設問は、次の例のように、**24時間制**でご記入ください。
例) 09時、18時
- ◆ ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、郵便ポストにご投函ください。

■補足説明

- ◆ 小学生のお子さんが2名以上の場合は、**年齢が一番下のお子さんについてお答えください。**
(就学前のお子さんと小学生のお子さんがいらっしゃる場合は、それぞれの調査票でお答えください。
保護者様向けの調査票は「小学生用」と「就学前児童用」の2種類あります。)
- ◆ 回答は**1人1回限り**でお願いいたします。

本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

相馬市役所 保健福祉部 こども家庭課 こども家庭係(相馬市役所 1階)
【電話】0244-37-2204

○アンケートに出てくる施設やサービスについて

幼稚園	満3歳から小学校就学前までの幼児を対象に、健やかな成長のための環境を与え、心身の発達を助長することを目的とした教育施設です。
幼稚園の預かり保育	幼稚園の在園児を対象として、教育時間終了後等に引き続き子どもを預かり、保育を行います。
保育園(認可保育所)	児童福祉法に基づき、国が定めた設置基準等をクリアして都道府県知事に認可された保育所のことで、保護者が仕事などの理由で、0歳～小学校就学前の子どもを保育できない場合に、子どもを預かって保育をする児童福祉施設です。(※定員20人以上のもの)
認定こども園	幼稚園と保育園の機能をあわせ持った子育て支援の総合的な提供を行う施設のことで、3～5歳の子どもは、保護者の就労の有無にかかわらず利用ができます。
小規模保育施設	乳幼児を対象として、利用定員が6名以上19人以下で行う保育施設です。
家庭的保育	自宅の居室などを保育室として使い、仕事や病気などの理由で、日常的に家庭で保育できない保護者に代わって子どもを預かる制度です。
居宅訪問型保育	保育者が子どもの家庭に訪問して保育をする事業です。
事業所内保育施設	事業所内保育施設 主に従業員の乳幼児を預かる企業内の託児所です。
認可外保育所	保育園と同様な役割を果たしていますが、児童福祉法による認可を受けていない保育施設のことで、託児所なども含まれます。
病児・病後児保育事業	病気回復期(病気中も含む)の小学校6年生までの子どもを、保護者が仕事などの理由により家庭で育児を行うことができない場合に、保育園や医療機関に付属する専用スペースで看護師等が一時的に預かる事業です。
ベビーシッター	私的な契約に基づき、乳幼児保育や産休明け保育などを行う人をいいます。
ショートステイ事業	おおむね一週間程度まで、子どもを児童養護施設などに宿泊させて預かる事業です。
一時預かり事業	短期的な就労、病気や冠婚葬祭、私的な理由等により一時的に保育ができない場合に、保育園等で一時的に保育をする事業です。
ファミリー・サポート・センター事業	育児の手助けができる人(協力会員)と、育児の手助けが必要な人(依頼会員)を会員登録し、依頼会員からの依頼に応じて、育児の手助け(援助活動)ができる協力会員を紹介する事業です。
子育て支援センター (地域子育て支援拠点事業)	公共施設や保育園等の地域の身近な場所において、子育て中の親子が気軽に集い、子育て中の親子の交流、子育ての不安や育児相談、子育てに関する情報提供等を受けるなど、子育てに関する拠点となる施設です。
放課後児童クラブ (放課後児童健全育成事業)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の子どもたち(放課後児童)に対し、放課後や春・夏・冬休み、土曜日等の学校休業日に、専用施設などで適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図る事業です。

注)現在、相馬市では実施していない施設やサービスも含まれています。

《A. お子さんとご家族の状況について、うかがいます。》

問1 お子さんのお住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|---------|---------|----------|---------|---------|
| 1. 中村地区 | 2. 東部地区 | 3. 大野地区 | 4. 飯豊地区 | 5. 八幡地区 |
| 6. 山上地区 | 7. 玉野地区 | 8. 日立木地区 | 9. 磯部地区 | |

問2 お子さんの生年月はいつですか。(小学生のうち年齢が一番下のお子さんについてお答えください)

平成 年 月生まれ

問3 お子さんを含めて、ご家族にお子さんは何人いらっしゃいますか。また、そのうち、一番年下のお子さんの生年月月はいつですか。（就学前のお子さんを含め一番年下のお子さんの生年月月をお答えください。）

お子さんの人数： 人 一番年下のお子さん：平成・令和 年 月生まれ

問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|------------|--------------------------------|
| 1. お子さんの母親 | 2. お子さんの父親 | 3. その他（ ） |
|------------|------------|--------------------------------|

問5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 お子さんと同居されている親族等（兄弟姉妹を除く）をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

※父親または母親が単身赴任等で一時的に別居されている場合は、同居されているものとしてお答えください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 | 5. その他の親族等 |
|-------|-------|-------|-------|------------|

問7 ご家族の中で、お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（〇は1つ）

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） | |

《B. 子どもの育ちをめぐる環境について、うかがいます。》

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係でお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- | | | | | | |
|--------------|-------|-----------|--------|--------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 小学校 | 6. 保育施設等 |
| 7. 放課後児童クラブ等 | | 8. その他（ ） | | | |

問9 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべて○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|----------|--------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 | 4. 保育施設等 | 5. 放課後児童クラブ等 |
| 6. その他（ ） | | | | |

問10 親族や友人・知人などで、お子さんをみてもらえる人はいますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない

問10-1へ

(問10で「1」～「4」に○をつけた方に、うかがいます。)

問10-1 お子さんをみてもらっている状況について、お答えください。（当てはまるものすべてに○）

	祖父母等の親族	友人・知人
身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	1	1
身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	2	2
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	3	3
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	4	4
その他()	5	5
みてもらえる人はいない	6	6

問11 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 祖父母等の親族	2. 友人・知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設(放課後児童クラブ、児童センター等)、NPO
5. 保健センター(保健師)	6. 小学校(学校の先生)
7. 塾・習い事(先生)	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他()	12. いない/ない

問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

問13 子育てに自信を持ってないことがありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問14 あなたの世帯全体では昨年1年間(令和5年1月~12月)に、以下の収入はありましたか。

(当てはまるものすべてに○)

1. お子さんからみた母親の就労による収入	2. お子さんからみた父親の就労による収入
3. お子さんからみた母親や父親以外の者の就労による収入	4. 児童手当などの公的手当
5. 親族などからの仕送りや援助	6. 失業保険や育休などの雇用保険
7. 元配偶者等からの養育費	8. 年金収入(遺族年金・障がい年金等)
9. 生活保護費	10. 株式の利子や配当金など財産収入
11. その他()	

問15 上記で答えていただいた、世帯全体の昨年1年間（令和5年1月～12月）の収入はおよそいくらになりますか。（〇は1つ）

1. 収入はない（0円）	2. 1～50万円未満
3. 50～100万円未満	4. 100～200万円未満
5. 200～300万円未満	6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満	8. 500～600万円未満
9. 600～700万円未満	10. 700～800万円未満
11. 800～900万円未満	12. 900～1000万円未満
13. 1000万円以上	14. わからない

問16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、次のそれぞれのものについて買えないこと・支払えないことがありましたか。（〇は1つ）

	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった
a. 家族が必要とする食料 （嗜好品は含みません）	1	2	3	4
b. 家族が必要とする衣料 （高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません）	1	2	3	4
c. 子どもが必要する文具や教材	1	2	3	4
d. 電気、ガス、水道料金の未払い	1	2	3	4
e. 電話料金の未払い	1	2	3	4
f. 家賃やローンの滞納	1	2	3	4

問17 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

(a. ～g. について、それぞれ○は1つ)

	している	していない	
		方針でしない・ 年齢的に必要ない	経済的にできない
a. 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
b. 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
c. 習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3
d. 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）	1	2	3
e. お誕生日のお祝いをする	1	2	3
f. 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
g. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3

（問17で「c. 習い事に通わせる」または「d. 学習塾に通わせる」で「1 している」に○をつけた方に、うかがいます。）

問17-1 習い事には1か月あたりどれくらいの費用がかかっていますか。（○は1つ）

1. 0～1,000円未満	2. 1,000～2,000円未満
3. 2,000～3,000円未満	4. 3,000～4,000円未満
5. 4,000～5,000円未満	6. 5,000～6,000円未満
7. 6,000～7,000円未満	8. 7,000～8,000円未満
9. 8,000～9,000円未満	10. 9,000～10,000円未満
11. 10,000～15,000円未満	12. 15,000～20,000円未満
13. 20,000円以上	14. わからない

問18 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 子どもの年齢に合った本	2. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所
3. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	4. 洗濯機
5. 炊飯器	6. 掃除機
7. 暖房機器	8. 冷房機器

問19 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. ふつう
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

問20 お子さんからみたご両親の最終学歴について教えてください。

(母親と父親のそれぞれについて、○は1つ)

母親	父親
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中退	2. 高等学校中退
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等中退	4. 高専、短大、専門学校等中退
5. 高専、短大、専門学校等卒業	5. 高専、短大、専門学校等卒業
6. 大学中退	6. 大学中退
7. 大学卒業	7. 大学卒業
8. 大学院中退	8. 大学院中退
9. 大学院卒業	9. 大学院卒業
10. 母親はいない	10. 父親はいない
11. その他()	11. その他()

問21 あなたのご家庭では、お子さんについて、今後どの段階までの教育を受けさせたいですか。

(a. ～c. のそれぞれについて、○は1つ)

	受けさせたい	受けさせる 必要はない	受けさせたいが 経済的に受け させられない
a. 高校までの教育	1	2	3
b. 短大・高専・専門学校までの教育	1	2	3
c. 大学または大学院までの教育	1	2	3

問22 現在のお住まいの状況について教えてください。(○は1つ)

1. 持家(一戸建て・マンション)	2. 県営・市営住宅	3. 社宅	4. 賃貸
5. 仮設住宅	6. その他()		

問23 お子さんは、規則正しく生活のリズムができていますか。(○は1つ)

1. できている	2. どちらかといえばできている
3. どちらかといえばできていない	4. できていない

問24 あなたは、今、ご自分が幸せだと思いますか。(○は1つ)

1. 幸せだと思う	2. どちらかといえば幸せだと思う
3. どちらでもない	4. どちらかといえば幸せだと思わない
5. 幸せだと思わない	

問25 子育てについて、今のお気持ちに一番ちかいものはどれですか。(○は1つ)

1. とても楽しい	2. 楽しい	3. 少し不安・負担を感じる
4. とても不安・負担を感じる	5. どちらともいえない	

問26 子育てについて、あなたが日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。
お子さんのこと、保護者のこと、それぞれお答えください。

(1) お子さんのこと (当てはまるものすべてに○)

1. 病気や発育・発達	2. 子どもの障がい
3. 食事や栄養	4. 育児の方法
5. 子どものしつけ	6. 子どもとの時間がとれない
7. 子どもとの接し方	8. 子どもの遊び
9. 子どもの教育や将来の教育費	10. 子育てで出費がかさむ
11. 友達付き合い (いじめ等を含む)	12. 登校を渋る
13. 子どもの生活リズムが乱れている	14. 特にない
15. その他 (	)

(2) 保護者のこと (当てはまるものすべてに○)

1. 仕事や自分のやりたいことができない	2. 配偶者・パートナーの協力が少ない
3. 話し相手や相談相手、協力者がいない	4. 保護者同士の交流・付き合いが難しい
5. 子どもを叱りすぎているような気がする	6. 子育てのストレスで、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまう
7. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからない	8. 子育てによる身体の疲れが大きい
9. 夫婦で楽しむ時間がない	10. 家族の中での子育ての方針の違い
11. 住居が狭い	12. 特にない
13. その他 (	)

問26—1 お子さんにどのような障がいがありますか。(当てはまるものすべてに○)

- (問26の(1)で「1. 病気や発育・発達」、「2. 子どもの障がい」に○をつけた方に、
うかがいます。)

《C. 保護者の方の就労状況について、うかがいます。》

※問27～問27-7は、母親・父親それぞれについてお答えください。（ひとり親の方は、ご自身に関する設問のみお答えください。）

問27 お子さんのご両親の就労状況（自営業の方とその家族従事者を含む）についてうかがいます。

母親（○は1つ）	父親（○は1つ）
1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労していたが、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労していたが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労していたが、産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労していたが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、 現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、 現在は就労していない
6. 今まで就労したことがない	6. 今まで就労したことがない
} 問27-5へ	} 問27-5へ

（就労している方に、うかがいます。）

（問27で「1」～「4」に○をつけた方に、うかがいます。）

問27-1 「1週当たりの就労日数」と「1日当たりの就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業前の状況をお答えください。

母親	父親
週 日・1日 時間	週 日・1日 時間

(引き続き、問27で「1」～「4」に○をつけた方に、うかがいます。)

問27-2 「家を出るおおよその時刻」と「帰宅するおおよその時刻」をお答えください。

※就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業前の状況をお答えください。

※自営業等で通勤を要しない方は、「勤務を開始する時刻」と「勤務を終える時刻」をお答えください。

母親	父親
家を出る時刻：□□時	家を出る時刻：□□時
帰宅する時刻：□□時	帰宅する時刻：□□時

(フルタイムで就労している方に、うかがいます。)

(問27で「1」または「2」に○をつけた方に、うかがいます。)

問27-3 今後の就労についての希望をお聞かせください。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. フルタイムの就労を続けたい	1. フルタイムの就労を続けたい
2. パート・アルバイト等への転換を希望しており、実現の見込みがある	2. パート・アルバイト等への転換を希望しており、実現の見込みがある
3. パート・アルバイト等への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている	3. パート・アルバイト等への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている
4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい

(→ 問28へ)

(パート・アルバイト等で就労している方に、うかがいます。)

(問27で「3」または「4」に○をつけた方に、うかがいます。)

問27-4 今後の就労についての希望をお聞かせください。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. パート・アルバイト等の就労を続けたい	1. パート・アルバイト等の就労を続けたい
2. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある	2. フルタイムへの転換を希望しており、実現の見込みがある
3. フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている	3. フルタイムへの転換を希望しているが、実現は難しいと考えている
4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい	4. 就労をやめ、子育てや家事などに専念したい

(→ 問28へ)

(就労していない方に、うかがいます。)

(問27で「5」または「6」に○をつけた方に、うかがいます。)

問27-5 今後の就労についての希望をお聞かせください。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になった頃に就労したい →1、2については 問27-6へ 3. 子育てや家事などに専念したい(就労を希望していない) → 問28へ	1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になった頃に就労したい →1、2については 問27-6へ 3. 子育てや家事などに専念したい(就労を希望していない) → 問28へ

(問27-5で「1」または「2」(就労したい)に○をつけた方に、うかがいます。)

問27-6 希望する就労形態をお答えください。

母親 (○は1つ)	父親 (○は1つ)
1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度) 2. パート・アルバイト等(フルタイム以外) (「2」に○をつけた場合) → 週 □ 日・1日 □ 時間程度	1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度) 2. パート・アルバイト等(フルタイム以外) (「2」に○をつけた場合) → 週 □ 日・1日 □ 時間程度

(問27-5で「1」または「2」に○をつけた方に、うかがいます。)

問27-7 就労希望がありながら、現在働いていない理由について、お答えください。

母親 (もっとも近い答えに○1つ)	父親 (もっとも近い答えに○1つ)
1. 定期的に子どもを預けられる保育事業が利用できない、または利用しにくいから 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がないから 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから 5. その他 ()	1. 定期的に子どもを預けられる保育事業が利用できない、または利用しにくいから 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がないから 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから 5. その他 ()

《D. お子さんの放課後などの過ごし方について、うかがいます。》

問28 a. お子さんは、現在、小学校の放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。

b. a. で○をつけた項目について、それぞれ週あたりの日数を数字でご記入ください。

また、「5. 放課後児童クラブ」の場合には、利用している（していた・したい）時間も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字、時間は24時間制）。

※放課後児童クラブ、ファミリー・サポート・センター（もりっこサポート）、放課後等デイサービスの利用には、一定の利用料が必要です。

a. 現在の放課後の過ごし方 (当てはまるもの <u>すべて</u> に○)		b. 小学1年生～3年生 の期間	b. 小学4年生～6年生 の期間
1. 自宅	⇒	週 日程度	週 日程度
2. 祖父母・親戚宅、友人・知人宅	⇒	週 日程度	週 日程度
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	⇒	週 日程度	週 日程度
4. 放課後子ども教室 ^{*1}	⇒	週 日程度	週 日程度
5. 放課後児童クラブ ^{*2} ※下校時から何時まで利用している(していた・したい) にかについてもお答えください。	⇒	週 日程度 ⇒下校時から 時まで	週 日程度 ⇒下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター（もりっこサポート）を利用	⇒	週 日程度	週 日程度
7. 放課後等デイサービス ^{*3} （障害福祉サービス）	⇒	週 日程度	週 日程度
8. その他（図書館、公園など）	⇒	週 日程度	週 日程度

*1 「放課後子ども教室」は、放課後や週末等に、学校施設等を利用し、地域の方の参画を得て、子どもたちに学習・スポーツ・文化芸術活動・地域交流活動等の場を提供するものです。

*2 「放課後児童クラブ」は、就労などにより昼間家庭に保護者がいない小学生を対象に、放課後児童支援員の支援の下で、授業が終わった後の遊びや生活の場を提供するサービスです。

*3 「放課後等デイサービス」は、就学している障がい児（小中高生）に、児童支援員等の下で、授業の終了後又は休業日に、通所して発達支援を行うことにより、子どもの健全な育成を図るサービスです。

(放課後児童クラブを利用している方に、うかがいます。)

(問28で「5」に○をつけた方に、うかがいます。)

問28で「5」に○をつけなかった方→ 問28-4へ

問28-1 a. 「土曜日」及び「長期休業期間（夏休み等）」における、お子さんの放課後児童クラブの利用状況をお答えください。

b. a. で○をつけた項目について、それぞれ利用している時間帯をお答えください。

	a. 利用状況 (それぞれ、当てはまるもの1つに○)		b. 利用している時間帯
土曜日	1. ほぼ毎週利用している	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	2. 月に数日利用している	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	3. 利用していない	⇒	—
長期休業期間	1. 週4～6日利用している	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	2. 週1～3日利用している	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	3. 利用していない	⇒	—

問28-2 a. 放課後児童クラブの利用希望を、「平日」、「土曜日」、「長期休業期間（夏休み等）」それぞれについてお聞かせください。

b. a. で○をつけた項目について、それぞれ利用希望をする時間帯をお聞かせください。

	a. 利用希望 (それぞれ、○は1つ)		b. 利用を希望する時間帯
平日	1. 週4～5日程度利用したい	⇒	下校時から □ □ 時まで
	2. 週1～3日程度利用したい	⇒	下校時から □ □ 時まで
	3. 利用を希望しない	⇒	—
土曜日	1. ほぼ毎週利用したい	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	2. 月に数日利用したい	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	3. 利用を希望しない	⇒	—
長期休業期間	1. 週4～6日程度利用したい	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	2. 週1～3日程度利用したい	⇒	□ □ 時から □ □ 時まで
	3. 利用を希望しない	⇒	—

- 問28-5 a. 今後、父母ともに働く予定があるなどの理由で、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。
- b. 利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字、時間は24時間制）。
※なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

a. 利用希望 (それぞれ、当てはまるもの1つに○)		b. 利用したい時間帯	
1. 利用したい	⇒	週 日程度 ⇒下校時から 時まで 土曜日の利用希望 1. ある 2. ない 日曜・祝日の利用希望 1. ある 2. ない	
2. 今後も利用しない	⇒	—	

(すべての方に、うかがいます。)

- 問29 a. 現在の過ごし方にかかわらず、お子さんに、小学校の放課後(平日の授業終了後)の時間をどのような場所で、過ごさせたいか希望をお聞かせください。

- b. a. で○をつけた項目について、それぞれ過ごさせたい日数を教えてください。

a. 希望する放課後の過ごし方 (当てはまるもの <u>すべて</u> に○)		b. 過ごさせたい日数
1. 自宅	⇒	週 日程度
2. 祖父母・親戚宅、友人・知人宅	⇒	週 日程度
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	⇒	週 日程度
4. 放課後子ども教室*1	⇒	週 日程度
5. 放課後児童クラブ*2 ※下校時から何時まで利用させたいかについてもお答えください。	⇒	週 日程度 ⇒下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター(もりっこサポート)を利用	⇒	週 日程度
7. 放課後等デイサービス(障害福祉サービス)	⇒	週 日程度
8. その他(公民館、公園など)	⇒	週 日程度

《E. お子さんの病気やケガの際の対応について、うかがいます。》

問30 この7月までの1年間に、お子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありましたか。

(○は1つ)

1. あった → 問30-1へ

2. なかった → 問31へ

(問30で「1」(あった)に○をつけた方に、うかがいます。)

問30-1 a. お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この7月までの1年間、どのように対応されたかをお聞かせください。

b. a. で○をつけた項目について、それぞれのおおよその日数をお答えください。

a. 対応(当てはまるもの <u>すべて</u> に○)		b. 日数
1. 就労していない保護者がみた	⇒	日程度
2. 父親が仕事を休んだ	⇒	日程度
3. 母親が仕事を休んだ	⇒	日程度
4. 病児・病後児保育を利用した	⇒	日程度
5. 親族・知人(同居者を含む)に預けた	⇒	日程度
6. ベビーシッターを利用した	⇒	日程度
7. ファミリー・サポート・センター(もりっこサポート)を利用した	⇒	日程度
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	⇒	日程度
9. その他()	⇒	日程度

(問30-1で「2」または「3」のいずれかに○をつけた方に、うかがいます。)

問30-2 その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設などに預けたい」と思いましたか。(○は1つ)

※病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1. できれば預けたかった → 日程度 → 問30-3へ

2. 預けたいと思わない → 問30-4へ

(問30-2で「1. できれば預けたかった」に○をつけた方に、うかがいます。)

問30-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のうち、どの事業形態が望ましいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設(例: 幼稚園、保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

(問30-2で「2. 預けたいと思わない」に○をつけた方に、うかがいます。)

問30-4 そう思われる理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

(問30-1で「4」または「8」のいずれかに○をつけた方に、うかがいます。)

問30-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。(○は1つ)

1. できれば仕事を休んで看たい → □ □ 日 → 問31
2. 休んで看ることは非常に難しい → 問30-6へ

(問30-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方に、うかがいます。)

問30-6 そう思われる理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他()

(すべての方に、うかがいます。)

問31 この7月までの1年間に、保護者の方の用事(冠婚葬祭、保護者や家族の病気等)により、お子さんを泊りがけで誰かに預けなければならなかったことや、預け先がみつからなかったことはありましたか。(〇は1つ)

1. あった → 問31-1へ

2. なかった → 問32へ

(問31で「1. あった」に〇をつけた方に、うかがいます。)

問31-1 a. その際に、どのように対応されましたか。

b. a. で〇をつけた項目について、それぞれの年間何日程度ありましたか。

a. 対応(当てはまるものすべてに〇)		b. 年間日数
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	⇒	泊(日)
2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	⇒	泊(日)
3. 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	⇒	泊(日)
4. 仕方なく、子どもを同行させた	⇒	泊(日)
5. 仕方なく、子どもだけで留守番させた		泊(日)
6. その他()	⇒	泊(日)

(問31-1で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に〇をつけた方に、うかがいます。)

問31-2 その場合、困難度はどの程度でしたか。(〇は1つ)

1. 非常に困難

2. どちらかという困難

3. 特に困難ではない

(すべての方に、うかがいます。)

問32 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、どのように対応していますか。もっとも当てはまるものをお答えください。(〇は1つ)

1. 休日救急病院・休日当番医

2. かかりつけ医

3. 電話相談(相談相手先:)

4. その他()

5. 受診できる医療機関を知らない

《F. 子育て支援に関する情報提供や相談・支援について、うかがいます。》

問33 相馬市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

(〇は1つ)

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

問34 お子さんを含めた小学生のお子さんの子育てに関して、どのような情報提供や相談・支援を受けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 放課後児童クラブへの入会等（内容、手続き、空き情報など）
2. 地域の子育て支援に関するさまざまなサービスの内容
3. 子育ての方法（コミュニケーション、食事、しつけ、生活習慣など）
4. 子どもの心身の健康や発達
5. 子育て中の保護者同士の仲間づくり
6. （妊娠期を含めた）母親の心身の健康
7. 妊娠期から育児期の父親による子育て
8. その他（ ）

問35 市内の相談窓口や子育て支援サービス利用に必要な手続等の情報は、どのような手段で確認していますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 市のホームページ	2. 市の広報紙
3. 市の子育て支援マップ等	4. フェイスブック、LINE などの SNS
5. 市の各種相談窓口	6. 子どもが通っている幼稚園・保育施設
7. 保護者同士の口コミ	8. その他（ ）
9. 特にない	

問36 市からの子育てに関する情報を十分に受け取ることができますか。(〇は1つ)

1. 十分である	2. まあ十分である
3. やや不十分である	4. 不十分である

問37 下記の項目で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。それぞれの事業ごとにA～Cについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
回答例→	①	2	1	②	1	②
①児童館（中央児童センター、川原町児童センター）	1	2	1	2	1	2
②子ども公民館（東部子ども公民館、西部子ども公民館）	1	2	1	2	1	2
③相馬こどものみんなの家	1	2	1	2	1	2
④相馬愛育園（地域子育て支援拠点）	1	2	1	2	1	2
⑤そうま子育てサポートサイトこうま（Kouma）	1	2	1	2	1	2
⑥相馬市子育て支援マップ	1	2	1	2	1	2
⑦もりっこサポート事業	1	2	1	2	1	2
⑧保健センターの親子交流の場や相談事業	1	2	1	2	1	2
⑨家庭児童相談室	1	2	1	2	1	2
⑩すくすく soma （相馬市公式フェイスブック）	1	2	1	2	1	2
⑪尾浜こども公園	1	2	1	2	1	2

問38 相馬市外の公園や屋内型遊び場などで、A. 公園、B. 屋内型遊び場、C. その他子ども関連施設の①施設名称、②所在市町村名について、お子さんと一緒に今後も利用したいと思う施設を1カ所ずつ、それぞれお聞かせください。特にない場合は、未記入で構いません。

項目	①施設名称	②所在市町村名
A. 市外の公園		
B. 市外の屋内型遊び場		
C. 市外のその他子ども関連施設		

問39 相馬市で子育てするうえで、有効だと感じる支援・対策はなんだと思いますか。特に重要だと考える番号3つまで選んでください。(〇は3つ)

番号	項目	主な内容
1	待機児童を解消する	保育施設や放課後児童クラブに整備・充実、保育士の確保など
2	保育サービスの充実	保育施設や放課後児童クラブのサービス充実
3	妊娠・出産に対する支援	出産祝い金・新生児祝い金など
4	障がい児や医療的ケア児の施策・施設の充実	夜間、休日等の保育、障がい児受け入れ保育、医療的ケア児保育支援など地域で安心して生活できるような施策・施設の充実
5	安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実	小児科クリニック、産婦人科、夜間・休日の救急体制の充実、子ども医療費助成の継続など
6	児童虐待やいじめ、犯罪等に対する対策の充実	児童虐待の防止、SNS犯罪の防止、いじめ・不登校対策など
7	子どもの教育環境の充実	校舎等の改修(耐震改修・老朽校舎建替え等)、ICT教育環境整備、特別支援教育の充実、自主的な活動や学習の支援など
8	ひとり親家庭の支援を行う	ひとり親家庭に対する相談や生活支援、給付金の充実
9	母子の健康支援	母子の健康、健康診断、子どもの歯の健康づくり、任意の予防接種の補助、放射能教育、発達支援のための健診や訪問等の充実
10	家庭で保育する世帯への支援を行う	家庭で保育する世帯への相談支援、預かり支援、在宅保育支援金などを新たに発足するなど
11	経済的な負担を減らす・経済的な支援を行う	保育園等の保育料軽減、放課後児童クラブ保護者会費等の軽減など。子育て給付金、移住支援、結婚新生活支援助成金など。
12	地域内交流の活性化を行う	地域内の世代間交流、子育てサークル活動の拡充やボランティア団体NPO法人等による活動の推進など
13	子どもの活動拠点の充実	児童センター、子育て支援拠点、公園、屋内型遊び場、子ども食堂、学習塾、スポ少など子どもの居場所の充実
14	子育てに関する相談体制の充実	子育てに関する不安や悩みの相談支援、発達相談の強化、保護者同士の相談会の開催など、相談窓口の充実
15	子育てしやすい労働環境を作る	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発、男性の育児休業の取得支援など
16	緊急的・一時的な預かり体制の充実	一時預かりや子育て短期支援事業など緊急的・一時的な預かり体制の充実
17	その他	()

問40 子ども・子育て支援に関してご意見・ご希望がありましたら、ご自由にご記入ください。

お忙しい中、多くの設問にもかかわらず、調査にご協力いただき、
誠にありがとうございました。

